

令和4年度 幼児教育人権研修 実施要項

- 1 目的 人権が尊重された就学前教育に向けて、今日的な課題とその対応の在り方を理解し、幼児期における人権教育の重要性について認識を深めるとともに、就学前施設の果たすべき役割について考える。
- 2 対象 幼稚園・府立支援学校幼稚部・保育所・認定こども園、認可外保育施設の所属長及び教職員
募集人数 300名

3 内容等

回	日時	内容	講師等
1	オンデマンド開催 6月24日(金) ～ 7月14日(木)	大阪府における人権教育推進の課題 親学習について 性の多様性と保育・教育 〔講義・講演〕	大阪府教育庁 指導主事等 大阪府教育庁 指導主事等 F R E N S 代表 小野 アンリ
	提出締切: 7月21日(木)		
2	2月13日(月) 14:30～17:00	実践発表・研究協議 分科会1 障がい理解 分科会2 保幼小連携 分科会3 子育て支援 〔実践発表・研究協議〕	(発表者) 府内幼児教育施設 教諭等 (助言者) 大学教授等
	オンデマンド開催 2月13日(月) ～ 3月3日(金)	子ども虐待の理解と対応 〔講義〕	大阪府福祉部 子ども室 家庭支援課
	提出締切: 3月10日(金)		

※太字の時間帯は、通常の時間帯と異なるので注意してください。

- 4 会場 第1回 所属校等

第2回

大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話 06-6692-1882）及び所属校等

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m

JR阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m

近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

- 5 担当室 人権教育研究室・企画室

- 6 その他 (1) 受付は30分前から。
(2) 来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること。
(3) 自家用自動車・バイク等は大阪府教育センターに駐車できません。
(4) Web開催（オンデマンド開催、リアルタイム開催）の場合、研修対応ポータルサイトの実施マニュアルを参照すること。

個別募集

令和4年度 幼児教育人権研修 シラバス

1 目的

人権が尊重された就学前教育に向けて、今日的な課題とその対応の在り方を理解し、幼児期における人権教育の重要性について認識を深めるとともに、就学前施設の果たすべき役割について考える。

2 「幼児教育に関わる教職員の育成指標」の対象項目

	I			II			III			IV		V			VI		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
第4期	○						○	○		○	○				○	○	○
第3期	○						○	○		○	○				○	○	○
第2期	○						○	○		○	○				○	○	○
第1期	○						○	○		○	○				○	○	○
第0期																	

3 研修課題とねらい等

回	研修課題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	大阪府における人権教育推進の課題	人権が尊重された就学前教育推進のために必要な人権諸課題について理解を深める。	講義により、様々な人権課題について学ぶとともに、就学前教育との関連について学ぶ。	
	親学習について	親学習について理解し、保護者への支援の在り方について認識を深める。	親学習の内容や進め方について学び、親と子の関係や保護者どうしのつながりの大切さについて、講義から学ぶ。	
	性の多様性と保育・教育	性の多様性について理解を深めるとともに、子どもの姿のとらえ方・関わり方について認識を深める。	講演を通して、性の多様性について学び、ちがいが尊重され、すべての子どもがありのままに認められるために必要な保育や教育の在り方について考える。	
2	第1分科会 障がい理解	・人権が尊重された就学前教育の在り方について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 実践発表を通して、すべての子どもが互いの違いを認め合い、「ともに学び、ともに育つ」ための取り組みや、保幼小連携を通して子どもの将来を見通した取り組み、様々な背景のある保護者への支援の在り方等について学ぶ。 各分科会のテーマに基づいて、研究協議を行い、厳しい状況にある子どもも含め、すべての子どもにとって校園所が安全で安心な場となるために、どのようなことができるかを考える。 	
	第2分科会 保幼小連携	・人権教育・保育の推進体制や地域・保護者・関係機関等との連携の在り方について認識を深める。		
	第3分科会 子育て支援	・人権教育の効果的な指導方法等について認識を深め、人権教育の取り組みについての展望を持つ。		
	子どもの虐待の理解と対応	子どもへの虐待の現状やその背景について理解し、虐待の早期発見や防止に向けて必要な観点について認識を深める。		